



雪若丸 情報

第2号

庄内総合支庁農業技術普及課 (TEL 0235-64-2103)

茎数は足りていますか？

460～520 本/m²を確保した圃場から中干しに入りましょう。

目標穂数の8～9割(460～520本/m²)を確保した圃場から、速やかに中干しに入りましょう。6月30日(葉令9.5前後)の生育が560～750本/m²、葉色(SPAD値)44以下になるよう、水管理や中干しで生育をコントロールしてください。



6月20日の生育が不足している場合(茎数300本/m²以下、葉色40以下)は、窒素成分で1kg/10a程度補完追肥し、生育量を確保するとともに、浅水管理で分けつを促進しましょう。ただし、遅くとも6/25には中干しに入るようにしてください。

1. 生育調査結果(6月20日調査)

梅雨に入り、気温が低く、日照が少ない日が続いたため、指標並みの生育となりました。**草丈は指標より短く、葉数はやや遅れているものの、葉色、茎数は指標並みです。**

生育調査圃場の状況(鶴岡市下小中)

| | 草丈(cm) | 茎数(本/m ²) | 葉数(枚) | 葉色(SPAD) |
|------|--------|-----------------------|-------|----------|
| 本年 | 30.7 | 502 | 8.0 | 43.7 |
| 指標 | 34.0 | 520 | 8.5 | 44.0 |
| 指標比差 | 90 | 97 | -0.5 | -0.3 |

2. 中干しのめやす

中干しの遅れは生育が乱れ、収量、品質の低下につながります。適期適量の穂肥を施用するためにも、目標茎数を確保した後は速やかに作溝・中干しに入りましょう。

茎数が多く、葉色が濃い場合は、中干しは強めに行いましょう。中干しの期間は10～14日間です。

| | |
|-------------------------|--|
| 地力並・生育並～良 | 7～10日間を目安に小ひびが入る程度に中干しを行う。 |
| 地力高い・生育過多 (復元田、葉色濃い) | 速やかに中干しに入る。 やや強めの中干し(11～15日間を目安に大きなひびが入らない程度まで落水状態)とする。 |
| 地力低い・生育過多 (砂質土壌) | 6月中は水深10cm程度を目標に深水管理を行って無効茎を抑制し、 7月に入ったら、穂肥までの期間、小ひびが入る程度に中干しを行う。 |
| 目標茎数に足りない | 引き続き浅水管理で有効茎を確保し、有効茎が決定する6月末頃から中干しを開始する。 |